

平成 27 年度第4回政策会議概要

- 1 開催日時:平成 27 年5月 29 日(金)15:10~15:35
- 2 開催場所:プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要:以下のとおり
(●議題提出部局説明・回答、☆意見・質問)

議題1 平成 27 年版成果レポート(案)及び事業改善に向けた有識者懇話会(ブラッシュアップ懇話会)の開催について

●藤嶋課長【財政課】(資料1に基づき説明)

資料1-1により、平成 27 年版成果レポート(案)及び今後の日程について説明。

資料1-3により、ブラッシュアップ懇話会の対象施策、外部有識者及び日程(予定)について説明。

(質疑等なし)

議題2「みえ県民力ビジョン」次期行動計画について

●安井課長【企画課】(資料2に基づき説明)

「みえ県民力ビジョン」次期行動計画について、「県民力でめざす『幸福実感日本一』の三重」という基本理念を実現するため、平成 28 年度から 31 年度までの4年間の計画を策定する。

次期行動計画の取りまとめの方向について、基本的な考え方としては、現行動計画の総括をするとともに、この4年間での時代環境の変化や県政における課題を整理する。そして、その課題等を踏まえて、次期行動計画の基本的な考え方をまとめる。また、重点的な取組については、基本的な考え方を示すとともに、具体的な取組は毎年度の三重県経営方針の中で選定する。次に、政策体系については、「みえ県民力ビジョン」に掲げる政策を実現するため、施策と基本事業を体系化し、施策の取組方向と基本事業の取組内容を明らかにする。そして、計画の推進については、行政運営の取組や計画の進行管理を示す。

「みえ県民力ビジョン」と「三重県まち・ひと・しごと創生総合戦略(仮称)」の位置づけを示す図について、「みえ県民力ビジョン」は、県の取組等を網羅し、体系的にまとめたものであり、「三重県まち・ひと・しごと創生総合戦略(仮称)」は、人口減対策や社会減対策のためにまとめた、ビジョンの体系の一部で構成する個別計画と位置づけた。また、三重県経営方針において、毎年度、重点化を図っていく。

今後のスケジュールについては、9月に中間案、11月に最終案を示し、最終的に3月に策定する。

この策定方針については、6月3日の全員協議会で説明する予定である。

☆福田地域連携部長

選択・集中プログラムのほかに、実質的に社会情勢の変化や重点化施策も重点化してきたが、次期行動計画では、一本化して、全体として整理していくということか。また、経営方針の記述等も整理していくということか。

●安井課長【企画課】

重点化についてはそのとおりである。また、経営方針も全体として整理していく。

☆西城こども・家庭局長

「三重県まち・ひと・しごと創生総合戦略(仮称)」は、幅広い戦略であるので、個別計画として位置づけることには違和感がある。総合戦略が次期行動計画に先行して議論が進み、その議論が行動計画に入ってくるがあるので、総合戦略で何年かで取り組むと整理されたものは、単年度の経営方針で決めるというだけでなく、重点化も複数年度にわたる重点的な取組という位置づけがなされると考えるがどうか。

●安井課長【企画課】

総合戦略は、他の個別計画よりも重要度が高く、分野横断的な計画であり、他の個別計画と同じと考えてはいないが、「みえ県民力ビジョン」との関係では個別計画と示した。総合戦略の議論が先行するが、最終的に行動計画を策定するタイミングで、総合戦略にフィードバックして改定することもありえると考えている。

また、重点化については、毎年度の経営方針で決めていくと位置づけているものの、総合戦略で複数年度で取り組むものもあるので、重点化する事業が単年度なのか、複数年度にわたることもあるのかなどは、これからの議論である。

☆高沖環境生活部長

「みえ県民力ビジョン」と「三重県まち・ひと・しごと創生総合戦略(仮称)」の位置づけを示す図について、総合的な計画の「みえ県民力ビジョン」の中に入っている事務事業は、個別計画の「三重県まち・ひと・しごと創生総合戦略(仮称)」の中にも入るとことを示しているのか。

●安井課長【企画課】

この図は、「みえ県民力ビジョン」の事務事業の一部は総合戦略にあり、総合戦略にあるものは「みえ県民力ビジョン」の政策体系で整理されることを示している。

議題3「平成27年度三重県経営方針(案)」について

●安井課長【企画課】(資料3に基づき説明)

平成27年度三重県経営方針(案)については、4月1日に暫定版を公表したが、今回、農業版BCP策定事業等や三重県地域創生人材育成事業など平成27年度6月補正予算、「新四日市市JCT」や「ええとこやんか三重 移住相談センター」など4月以降の名称決定・変更等、「みえ防災・減災アーカイブ」の充実や平成32年の全国中学校体育大会の開催など春の政策協議の結果等について、記述内容の追加・修正を行っている。

この経営方針(案)については、6月3日の全員協議会で説明する予定である。
(質疑等なし)

議題4 三重県バリアフリー観光ガイド「みえバリ」の作成について

●田中観光局長【観光政策課】(資料4に基づき説明)

障がいのある調査員の方々が取材し、感じたことを紹介した三重県バリアフリー観光ガイド「みえバリ」を作成した。

「みえバリ」を活用し、案内機能の向上を図るとともに、新たな観光需要を掘り起こしていきたいので、各部局の協力をお願いしたい。

(質疑等なし)

その他

☆鈴木知事

以下の点について、もう一度気を引き締めて業務にあたること。

1. 職員間での情報伝達は、あいまいさを残さずにしっかりやりとりすること。特に危機管理事案については、正確にやりとりすること。
2. 書類やチラシなどの表現、自分達の行動について、県民の方がどう感じるかという想像力をしっかり働かせて仕事をする事。
3. みんなが思いをこめて積み重ねてきた議論や経緯を大事にすること。
4. 各種マニュアル類については、書きすぎていないか、抽象的すぎないか、人事異動があっても機能するかなど、今一度各部局で確認すること。
5. 危機管理事案やコンプライアンスに関する事案があとを絶たない。心をこめて仕事をしてほしい。